

Title	テキストマイニングによる不祥事企業の予想
Sub Title	
Author	東, 光貴(Azuma, Mitsutaka) 林, 高樹
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2008
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2008年度経営学 第2286号 不可
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002008-2286

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

論文要旨

所属ゼミ	林 研究会	学籍番号	80730048	氏名	東 光貴
(論文題名)					
テキストマイニングによる不祥事企業の予想					
(内容の要旨)					
<p>有価証券報告書の単語情報を基に、不祥事を起こすであろう企業を予想。不祥事を起こす企業の早期発見ならびに不祥事への迅速な対応の手助けとなることを本研究の目的とする。</p>					
<p>具体的なアプローチ方法としては、過去に不祥事を起こした企業の不祥事直前期の有価証券報告書と、同時期における不祥事を起こしていない同業他社の有価証券報告書に対してテキストマイニングを実施。両者の結果を比較し、不祥事を起こした企業と不祥事を起こしていない同業他社とで、特定単語の使用頻度の違い等の解明を図り、不祥事を起こす企業の予想につなげていくものとする。</p>					
<p>上記に加えて、不祥事を起こした企業の特定単語の使用頻度の時系列変化を分析。単語の使用頻度の変化が、不祥事からの改善度を図る指標として利用できないかの解明を図るものとする。</p>					